

保証書

取り扱い説明書、注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合、保証書の記載内容により無料修理いたします。
保証期間内でも次のような場合は有料修理となります。

- 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
- 他社製品との組み合わせが原因による故障および損傷
- お買い上げ後の輸送・移動・落下等による故障および損傷
- 火災・地震・落雷・水害、その他の天災地変による故障および損傷
- 規定以上の電圧による故障および損傷
- 消耗部品などの交換（蛍光灯など）
- 本書の提示がない場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です

保証期間はお買い上げ日から1年です

- 輸入商品のため、輸送中の梱包箱の傷や痛みは製品の使用に支障はありませんのでご容赦ください。
- 不具合が発生した場合は、故障および損傷箇所をご連絡ください。その場合、デジタルカメラ等で故障した箇所を撮影してください。
- 保証期間が過ぎた場合でも有償で修理を行います。送料・修理費をご負担ください。（修理範囲は損傷状況によります）
- 本内容は明示した期間・条件のもとにおいて、保証対象不具合部品の無料修理をお約束するものであり、お客様の法律上の権利を制限するものではありません
- 万が一、問題が発生した場合、弊社でできるだけすぐに対応さ

年 月 日
TIS TOU 株式会社

marina combi

EXTREMIS



取扱説明書

メンテナンスについて

重要！
汚れがついてしまった場合は、すぐに柔らかくきれいな布でふき取ってください。
特にワイン、インクなどの液体、コーヒー、ココス、石油、鳥などの糞、等色の濃い汚れには注意してください。
これらを乾燥させてしまうと、永久的なダメージとなってしまいます。

テーブル天板・ベンチ
・掃除の際は一般的なキッチン洗剤を水で薄め、使用してください。

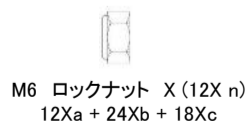
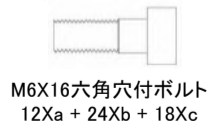
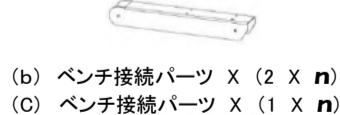
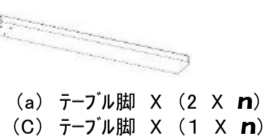
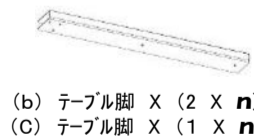
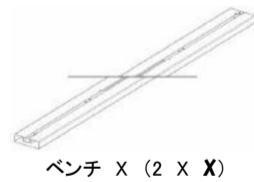
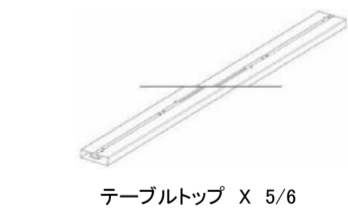
メラミンスポンジ
・頑固な汚れには、メラミンスポンジを使用するのも効果的です。
スポンジに少し水を付け、汚れ部分を擦って下さい。
・汚れは家具の耐久年数に左右されます。

アセトン
・頑固な汚れには、アセトンを使用するのも効果的です。

紛体塗装パーツ
・中世洗剤を使い、ぬるま湯でふき取りをしてください。
・研磨剤や表面をキズつけるおそれのあるブラシは使用しないでください。

中に入っている部材

n=脚の数
o=補強材の数
X=ベンチの数



組立てかた



二人組



No.10 スパナ



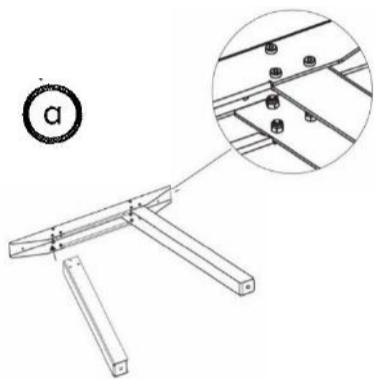
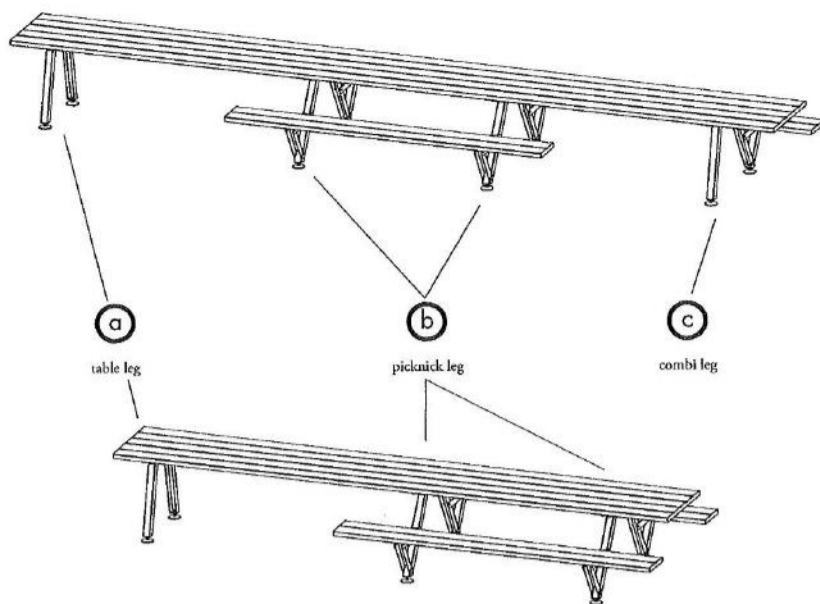
ソケットレンチ No.3 / No.4



60~120分
(テーブルの長さによる)

注意！
電動工具を使用しないでください！
組立に架台を使用する事をお勧め致し

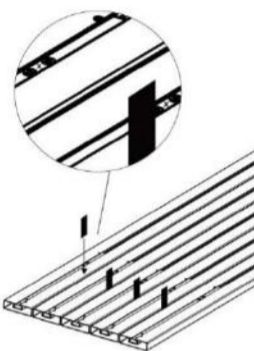
注意！
作業前に脚の型を、a b c で確認してくだ



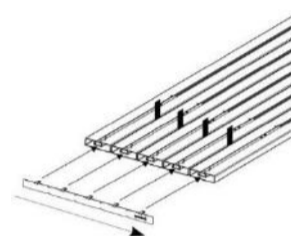
1. テーブルトップ 接続パーツと脚を M6X16六角穴付ボルトを使い固定します。ボルトを3本とも穴へ通してからソケットレンチで締めます。



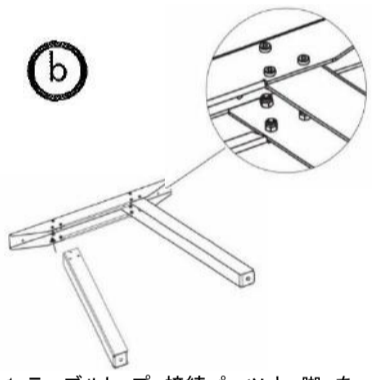
2. 組んだ脚にキャップを取り付けます。ナットを回しながら高さを調整します。



1. 床に溝を上向きにして穴を並べます。十の印が同じ位置にあるか確認してください。天板の端から40cm程のところにスペーサを差し、天板間の隙間一定にしてください。



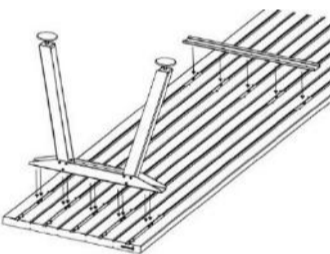
2. テーブルトップ エンドピースを天板へ差し込みます。差し込む際、エンドピースは左から右へスライドさせます。M5X12皿ボルトを使い固定します。逆側はエンドピースは右から左へスライドさせます。



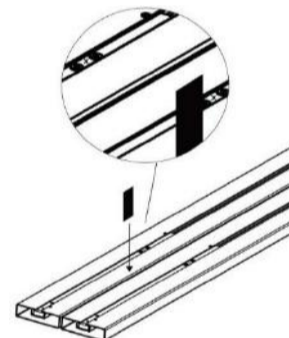
1. テーブルトップ 接続パーツと脚を M6X16六角穴付ボルトを使い固定します。ボルトを3本とも穴へ通してからソケットレンチで締めます。



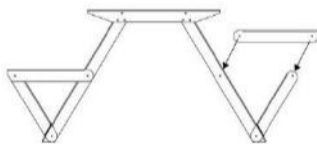
2. テーブルの脚の中にベンチサポートパーツを差込みます。



3. テーブルトップと脚を接続します。ボルト穴の開いている位置に脚を合わせて置き M6 × 20六角穴付ボルトで取り付けます。天板用補強材がある場合も M6 × 20六角穴付ボルトで取り付けます。取付けが完了したらスペーサを外し、テーブルを裏返します。



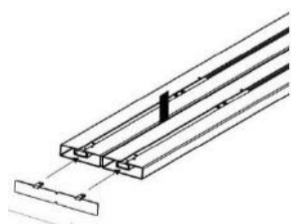
4. 床に溝を上向きにしてベンチの座面を並べます。十の印が同じ位置にあるか確認してください。天板の端から40cm程のところにスペーサを差し込み、天板間の隙間一定にしてください。



3. テーブルの脚とベンチサポートパーツの上にベンチ節座億パーツを差込みます。M6X16六角穴付ボルトを使い固定します。ボルトが外側にある事を確認して下さい。ロックナットを取付け締め上げてください。



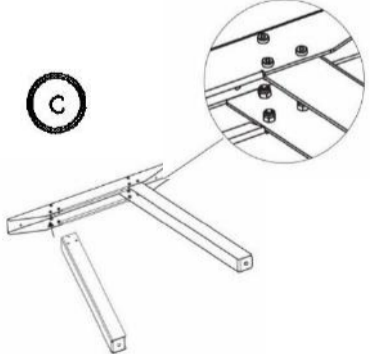
4. 組んだ脚にキャップを取り付けます。ナットを回しながら高さを調整します。



5. テーブルトップ エンドピースを天板へ差し込みます。差し込む際、エンドピースは左から右へスライドさせます。M5X12皿ボルトを使い固定します。逆側はエンドピースは右から左へスライドさせます。



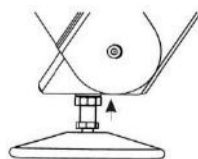
6. ベンチ接続パーツの上にベンチを置き、M6X20六角穴付ボルトで締めます。締める際は内側から外側の順で締め、仮締めの状態にしてください。すべての穴にボルトをつけ終わりましたら、ボルトを完全に締めてください。



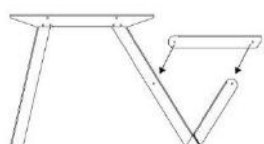
1. テーブルトップ 接続パーツと脚を M6X16六角穴付ボルトを使い固定します。ボルトを3本とも穴へ通してからソケットレンチで締めます。



2. テーブルの脚の中にベンチサポートパーツを差込みます。



7. 高さを再度確認し、キャップのナットを締めて完成です！



3. テーブルの脚とベンチサポートパーツの上にベンチ接続パーツを差込みます。M6X16六角穴付ボルトを使い固定します。ボルトが外側にある事を確認して下さい。ロックナットを取付け締め上げてください。



4. 組んだ脚にキャップを取り付けます。ナットを回しながら高さを調整します。